

# モデル地区耐震化啓発強化事業

- ・既存木造住宅を耐震化するための普及啓発、耐震診断・改修補助制度の拡充などのこれまでの取り組みが、耐震診断・改修の戸数増に必ずしも結びついていない。
- ・平成21・22年度に「モデル地区耐震化啓発強化事業」を実施し、耐震化を阻害している要因の分析と耐震化を促進するための効果的施策を検討した。
  - ＜実施期間＞平成22年2月～10月
  - ＜実施方法＞9モデル地区において、アンケート調査を実施(5,354票配布、1,603票回収(回収率29.9%))
  - 5モデル地区において、普及啓発セミナーを実施

## アンケート調査の内容

### 質問

「耐震補強」を行うことで、お住まいの家がどのくらい丈夫になるかをご存知ですか？

### 情報提供



### 再質問

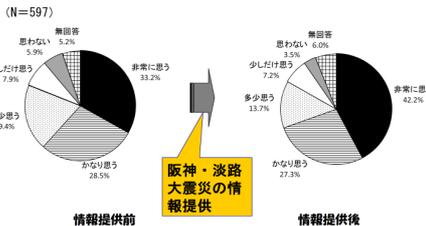
改めてお聞きします。  
 「耐震補強」を行うことで、お住まいの家がどのくらい丈夫になるかを知ることが出来ましたか？

## アンケート調査の結果

### 生命を失う恐怖感

あなたは、ご自身が大地震で亡くなるのがどれくらい悲惨だと思いますか？

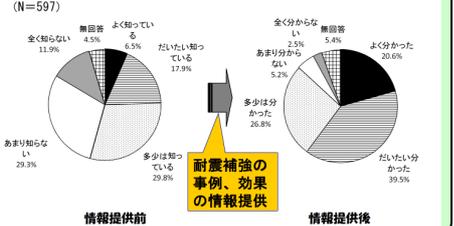
○人命損失の悲惨さを感じる人が増えたことが伺えます。



### 耐震補強の効果の認識

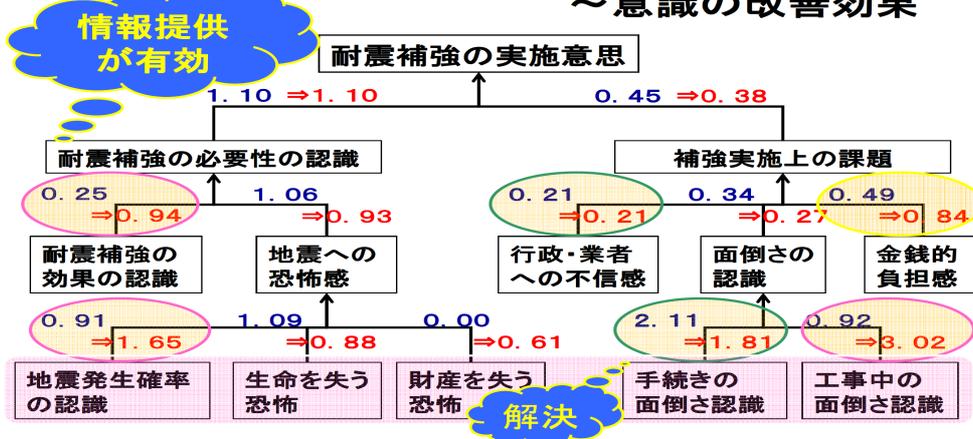
「耐震補強」を行うことで、お住まいの家がどのくらい丈夫になるかをご存知ですか？

○耐震補強の効果は認識されたことが伺えます。



## 明らかになった県民意識構造

### ～意識の改善効果



## 明らかになった効果的施策

- ・「地震の恐怖感」「補強効果」の認識を高める施策
- ・「費用の負担感」「手続きの憂うつ感」「業者・行政への不信感」「工事中の面倒感」の認識を緩和させる施策

## 具体的な施策

相談・手続きの支援窓口の一体化 等  
 耐震化を促進する体制づくり

### 課題

1. 手続きや相談の支援
2. 業者不信の解消
3. 費用負担の障壁軽減

### 対応方針

1. ワンストップ相談・手続き支援窓口の整備
2. 耐震診断・改修を行う業者の講習・登録制度
3. リフォーム施策との連携（割得感の付与）

耐震化率の目標 90%